

1 はじめに

以前「ドラムリン」、「エスカー」、「アウトウォッシュプレーン」という用語が地理教科書の氷河地形の中で出てきました。教科書には模式図がありましたが、写真がなく指導書の説明だけでは理解できず、生徒達に説明できませんでした。写真を探しましたが見つけることができずそのままになっていました。最近インターネットでそれらの写真を見ることができやっと理解できました。それらの写真は鮮明で、地形のスケールが実感できました。この写真を生徒達に提示し説明すれば、きっと理解させることができると思います。

地理の授業の中で、具体的な“イメージ”を提示しないまま授業を進めていることが多々あります。生徒達がわかっているものと思いこんでいる場合があるようです。

昨年度、総務省のエデュマート実証実験に参加いたしました。有料コンテンツを学校の授業で使用するための実験でした。私の学生時代の指導教授は水産業に詳しくだったので漁村の調査によくいきました。その時の体験も踏まえて、わかるように丁寧に授業を行いました。いつもはこれで終わるのですが、昨年度はエデュマートで提供された漁業のコンテンツがありましたので生徒達に見せました。感想文には「いままでわからなかったことが初めてわかってうれしかった」と書かれていました。いきなりこのコンテンツを見せても、生徒達は理解しなかったし、わかったという感激もなかったと思うと私の授業も十分意義があったと言えるでしょうが、最終的には画像が無ければ理解することが難しいということがわかります。

「百聞は一見にしかず」どおり、地理では「景観」がもっとも重要な概念です。「景観」のにならず地理の授業で扱うさまざまな内容について、具体的なイメージの提示が必須だと思います。

教科書や資料集のカラー写真や写真パネルがあります。本の写真はやや小さくインパクトが弱いように思います。学校ではいくつかの写真パネルのセットを購入していますが、写真の追加はできず、なんといっても“有料”です。1セット結構な値段がします。そこで、旅行パンフレットを切り抜いたり、カラーコピーで写真を拡大して厚紙に貼ってパネルを作ったりしています。スライドもよく使

いました。しかし、地理の授業で必要な写真は網羅していません。また、いざ使う段になると、行方不明になっていることもよくあります。

写真の代わりに実物を使うこともあります。授業用に小麦や大麦を栽培して自分でもやっと大麦と小麦の見分けがつかしました。みんなでおいしく食べたライ麦パン、ほうじ茶にバターを入れたバター茶、好評エビ入り（！）トムヤムクン、生臭いと不評のアンチョビー、青臭いサトウキビなど、好評だったものもありますが、おなかを壊さないかと後から心配したりして最近あまりやらなくなりました。やはり準備が大変です。実物のインパクトが強すぎる場合もあり食べた印象しか残らないのではとも思います。

最近はインターネットを利用することもあります。ただ、授業に使えるような写真はなかなか見つかりません。検索サイトで「オアシス」を検索した場合、出てくる内容は、音楽グループや喫茶店、スポーツジムのなどです。砂漠を背景にナツメヤシに囲まれて、窓の小さい日干し煉瓦の住居が並ぶ・・・、私が生徒達に伝えたい典型的なオアシス授業で使えるような大きくて鮮明な「オアシス」画像のはなかなか見つかりません。前もって、インターネットから教材の画像をダウンロードしてハードディスクに入れて分類し、授業に使うというのは個々の画像の著作者の許諾を得ていない以上問題があると思います。

自分でデジカメで撮影した画像を、スライドショーソフトで提示したり、パワーポイントを利用して、画像の表示にインパクトを与えて使うこともあります。LAN教室で実施することが便利ですが「情報」の授業でLAN教室の空きは少なくなりました。

普通教室でインターネット接続用の情報コンセントが設置されつつあるので、普通教室でイメージを提示した授業が可能になりつつあります。しかし、現時点ではプロジェクターを借りてきてLANケーブルや電源コードをつなぎ、パソコンを立ち上げながら、出席をとってやっと授業が開始できます。準備に時間とれる研究授業では可能でも、日々の普段の授業では難しい面があります。

普通教室にパソコンを設置する計画があると聞きました。スクリーンもマグネット式で黒板に貼り付ける手軽なものがあります。インターネットにつながったパソコンが教室に設置されるようになれば普段の授業で普通に使えるようになると思います。

2 共有化にむけて

私は大阪府高等学校社会（地歴・公民）科研究会のホームページの管理を担当をしています。昨年度までは、研究会の行事案内や行事の報告が中心でした。これだけではもったいないので、会員相互の情報交換の場所として掲示板活用したり、また教材を登録出来るような仕組みを作ることができればと考えていました。レンタルサーバーにはアカウントやパスワードでアクセス制限をしたりメーリングリストの設置も可能です。そこで実験的に掲示板やメーリングリストを設けてみましたが、掲示板では最初こそ利用がありましたが、結局ほとんど利用されず、またメーリングリストに至っては利用希望者がありませんでした。使っていたただけなかった理由は色々あると思いますが、結局は使いにくいシステムであったからだと思います。

また、写真をサーバー上にUPして利用するシステムの実験も始めました。サーバー上で動くPHPというプログラムで、写真（JPG画像）を研究会のサーバー上にアップロードします。使いたい人はその画像を表示させたり、ダウンロードできるシステムです。PHP言語やデータベースの書籍の中にあるプログラムを参考に画像登録、利用のシステムを作りました。画像が登録でき表示できた時は、一つの目標が達成できたという充実感がありましたが、登録できる人を制限したりするセキュリティ機能、カテゴリーごとに分類したり、並び替えたりするデータベース機能や、サムネイルを作成して使いやすくする機能は皆無の状態でしたので実際に使えるシステムにはほど遠いものでした。

3 XOOPS との出会い

画面の一部

そんな頃、インターネット上では、CMS（コンテンツマネジメントシステム）と言われるプログラム群が話題になりはじめていました。

「ユーザ情報の登録などのユーザ管理機能、サイト内の様々なコンテンツを串刺し検索できるサーチ機能、コミュニティサイト構築には欠かせない掲示板プログラム、投票システム、サイトリンク集構築

システム、ニュース記事投稿システム」(XOOPS 日本公式サイト <http://jpxoops.org/>より)などが含まれているサイト構築ソフトプログラム群です。2002年ごろから



書籍も出版されています。いくつかの CMS を検討して、主要な部分は日本人によって作られている（日本語への対応が問題ない）XOOPS（ズープス）を選びました。XOOPS の公式サイトでは活発に意見が交換されています。登録を経てログイン後に初めて書き込みや写真の登録が可能となるシステムを活用することによって無責任な利用も防ぐことができ、また、モジュール単位で様々な機能と追加できるなど、驚くほど高機能です。そして、幸いなことの無料で提供されています。

3 「平成 16 年度教育情報共有化促進モデル事業」に選ばれる

今年の 2 月に入った頃、大阪府教育委員会から、平成 16 年度文部科学省の「教育情報共有化促進モデル事業」の募集の情報を頂きました。この事業に研究会として参加できれば、文部科学省の支援をうけることが出来るのではと、社会科研究会の当時の研究会会長を始め何人かの方に相談したところ、トントン拍子に話しが進み、多数の研究委員・協力委員・NPO に参加いただき、研究会の全面的な支援のもとに企画書をまとめ、3 月に応募したところ幸い選ばれました。写真の登録以外に大阪府の全地歴・公民科教員への IT 活用度のアンケートや教材づくりの講習会も実施できるようになり、授業への IT 活用の支援を考えています。

4 画像投稿システム

教員が自ら作成し、著作権を持っている教材用の写真を研究会のサーバーに登録するという方法で持ちより、授業や授業関連やこのサイトの紹介での使用を認め合うという IT を活用した画像等の共有化システムです。持っている写真を登録し、不足している画像を授業に利用させてもらうという相互主義に立っています。みんなで登録すれば何とかそろうのではとの楽観した予測にもとづいています。

自分が著作権を持っている教材用の写真に関して、Web サイト上で解説を書き、登録（アップロード）いたします。使いたい場合は、この研究会 Web サイトの画像コンテンツにアクセスし、カテゴリーから探し、サムネイルをクリックして表示させるか、キーワードによって検索で必要画像を表示させます。そのままプロジェクターで提示したり、自分のハードディスク保存して利用することやプリントアウトして提示用として利用することも可能です。単に画像見せるだけでは効果は薄いのでどのように活用するか、活用事例も共有化できるようになればと思います。

これは「地理情報共有化」の中核となるものです。9 月 5 日現在約 410 点の写

真が説明入りで登録されています。このシステムは XOOPS 上で動く myAlbum-P 2.8 というモジュールで作っています。大変高機能で使いやすい画像コンテンツ管理システムです。

登録されている写真は地理以外に日本史関係のものも多くあります。使いやすいカテゴリーの項目の設定は今後の課題ですが、登録し易いように基本的には都道府県単位、世界の国単位にしています。大阪だけは、更に細かいカテゴリーを作っています。

サーバーは社会科研究会のレンタルサーバーを使用しています。現在の容量は 300 M B で後 1000 枚弱で満杯になります。今年度については、文部科学省の支援で必要なサーバーの容量は確保できる予定ですが、次年度からもこの取り組みが継続できたらと思っています。次年度以降の大容量のサーバーの確保について考えておかねばなりません。

5 著作権について

共有化の趣旨に賛成し、自分が撮影したから著作権も問題ない。しかしこの場合でも、写真に写っている人物の了承（肖像権）の問題や、公開について許可が必要な場合があります。こんな場合、ややこしいから登録しないとにならないように承諾を得る際に使って頂けるチェックリストを研究委員・協力委員で検討しています。また、著作権でのトラブルや使用の許諾の範囲を超えて使われることがおこる可能性もあります。これはを未然に防ぐことができ、トラブル時の対処の方法も考えておかねばなりません。

6 その他に（大阪地域案内、コミュニティサイトとして）

投稿された大阪の画像をもとに研究会のブラウザ上で作る大阪の地域案内のページの作成の実験（いくつかのモジュールのテスト中）も始めています。画像を有機的に配置し、みんなで作っていただければと考えています。

また、フォーラムを設けています。授業や研究会の行事の意見交換での使用していただければと思っています。みんなで作る W e b サイトとして、教育情報の共有化やコミュニティサイトとして役立ち、充実していくことを願っています。

参考文献、関係 Web サイト

田中清隆『PHPによる「教材コンテンツ共有化システム」構築の試み』阪南教育2003年
大阪府社会科研究会ホームページ <http://www.oh-syaken.com/>

XOOPS 日本公式サイト <http://jp.xoops.org/>